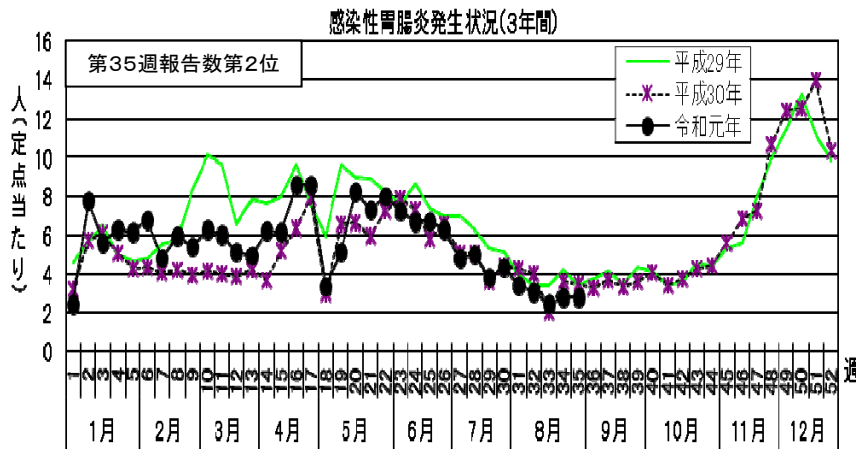
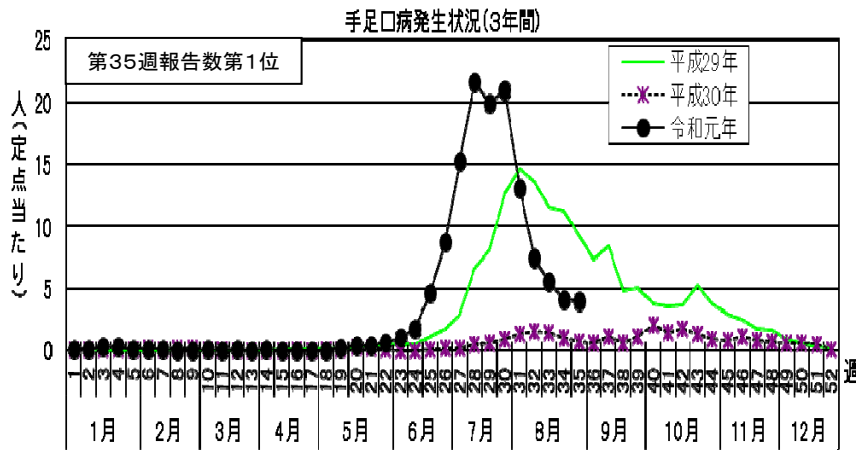


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和元年8月26日（月）～令和元年9月1日（日）〔令和元年第35週〕の感染症発生状況

第35週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)RSウイルス感染症でした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は3.97人と前週（4.09人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.78人と前週（2.78人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.47人と前週（1.63人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



インフルエンザの地域的な流行がみられています！

現在はインフルエンザの流行シーズンではありませんが、令和元年第35週（8月26日～9月1日）のインフルエンザの定点当たり報告数は0.50人となり、前週の定点当たり0.11人から増加がみられました。川崎市内では非流行期（定点当たり1.00人を下回る）となった6月以降も、報告数は少ないものの例年と比べてかなり高いレベルで推移しています。

特に高津区では、8月下旬に小学校の学級閉鎖が報告されています。非流行期ではありませんが、周辺でのインフルエンザの発生状況に注意し、予防対策に加え、感染を広げないための咳エチケットを心掛けましょう。

インフルエンザとは？

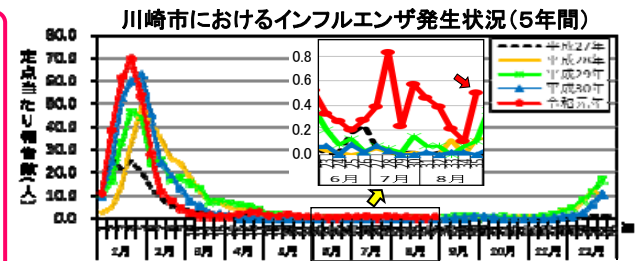
- 【感染経路】 飛沫感染、接触感染
- 【潜伏期間】 1～3日間
- 【主な症状】 発熱（通常38℃以上）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛、咳、鼻汁など



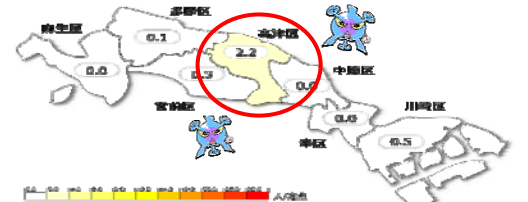
～3つの正しい咳エチケット～



マスクを着用する ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う 上着の内側や袖で覆う



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ(令和元年第35週)



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)